



しゃくなげ

令和2年
6月特別号
6月6日配信

～新型コロナウイルスの影響による休校に伴う連絡事項について～

シアトル日本語補習学校

今できること

校長 柏 隆

在校生の皆さん、お元気ですか。TVや新聞では、新型コロナウイルスがいつ終息するか分からない今の状況をどう乗り越えればいいのか、という記事や特集が組まれています。TVジャパンでも、様々な立場の人の考えを紹介した番組が放映されていたので、皆さんの中にも視聴した人がいるかもしれません。その中で、宇宙飛行士の方が、先が見えないこのような時は、閉ざされた環境で長期滞在をこなす宇宙飛行士の知恵が役に立つ、と言っていました。ある新聞記事で、**宇宙飛行士の若田光一さんが『在宅の心得』**について記者の質問に答えています。（朝日新聞 4月30日付）

(Q) 在宅勤務（学習）のコツは？

(A) 仕事（学習）の生産性を維持するためには、**スケジュールを明確にすることが大切です。1週間、1日の目標を定めて**、普段の学校や会社の生活と変わらないスケジュールで、一つひとつこなしていく。あと、**休みの日はちゃんと休む**ことです。

(Q) とはいえ、続けるのは難しそうです。

(A) **日記がおすすめです**。NASAの精神心理の研究で、宇宙のような閉鎖空間では**日記をつけるのが心の健康を維持するのに極めて効果がある**と、科学的に証明されています。その日の行動を振り返り、長いトンネルの先のことを見すえて今後のことを考える時間をとることが大きい。

(Q) 心身の健康を保つには？

(A) **生活リズムを崩さない**ことです。宇宙でも睡眠時間は普段と変えないようにしていました。リラクセスも大事です。運動、写真撮影、植物を育てたり、家族と電話したり。映画や音楽鑑賞もいいですね。私も**テレワーク**の毎日の中で、**トレーニング**を続けています。これが、生理学的だけでなく精神的な健康維持につながっています。人生で、病気のこんなパンデミックが起こることはほとんどありません。**後でもできることをやりたいと思うのではなく、今しかできないことを考えて過ごすことが大切**だと思います。

若田さんは、また、別の機会にこのようなメッセージを寄せています。

「新型コロナの影響で、多くの方が家で過ごす時間が増えていますが、宇宙の閉鎖空間で188日間仕事をした時と同様、普段の生活からリズムが変わらないように平日は日課をきちんと定め、自分のペースを掴（つか）んで、**学びと遊びのメリハリのある時間を過ごすことが大切**だと思います。日課の中に**運動の時間**を短くても入れること、**週末はきちんと休み、決して無理をしない**ことが、宇宙でも地球上でも体と心の健康に重要です。

そして、**オンラインで家族や友人と密なコミュニケーションを続けるなど、今しかできないことを楽しんで**ください。つらいなと思った時は、工夫しながら前に進もうと努力している時が一番成長している時だということも忘れないでください。

行動で迷ったら、今、なぜこのことに取り組んでいるのかという根本の理由に立ち返って、**今自分が取り組むべきことが何かを再認識**することが大切です。どんな時も**ユーモアを忘れず**、感染を防ぐために**一人一人が今できることをしっかり考え行動**し、世界中のみんなと一緒に乗り切っていきましょう。」

若田宇宙飛行士の言葉に、何か気づきはありましたか？

コロナウイルス感染がいつ収まり、いつものような生活に戻るのか、不安な日々が続いていますが、先の見通しが見えない未来のことを考えて不安になるよりも、今日1日、明日1日をどう過ごすかということに集中していくこと、そして、今しかできないことを考え、1日1日を乗り切ることが、不安な気持ちに乗っ取られずに済む方法だということでしょう。

皆さんと対面できる始業日は、9月を予定していますが、それまでに、今の状況がよりよくなり、サマミッシュ高校で、**シアトル日本語補習学校の皆が会える日を楽しみに**しながら、今できることに集中して、1日1日を乗り切って行きましょう。

○休校中の学習支援に関するアンケート結果(5月日実施)について

346名の方にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

今回のアンケートは、第1回の学習支援の課題が配信された後、メール配信や動画・パワーポイントの不具合等について把握することを主眼に実施いたしました。ただし、初回の学習支援の配信を終えたばかりのタイミングでしたので、学習支援内容についての評価は、評価材料が乏しく、判断できないとのお声もいただきましたが、現状で概ね満足しているとの回答は、全体の60%、今後の充実・改善を望むとの回答は、14%でした。お寄せいただいたご意見・ご要望・感想のうち、主なものは以下の通りです。

(意見・要望)

- 現地校の宿題と併せると保護者の負担がかなり大きいと思いました。
- 課題の提出期限を統一してほしい。
- 「学習のポイント」など、印刷しなければいけないが多すぎるように感じました。一枚の紙にまとめられるものは、まとめていただくと有り難いです。算数も含めたチェックリストがあると、課題のやり残しが無くなるので助かります。
- 直接会うことが、かなわなくとも、Zoomなどで、先生や新しいお友達と会いたいです。
- 授業動画やビデオレター、zoomでのオンライン授業など、支援の質を上げて欲しい。
- その週ごとの課題・内容をまとめた短いビデオやビデオメッセージの送付。また、土曜日に学習を始める前の10分ほど朝の会等、特に低学年児童にとって、新学年が始まり学校との繋がりが希薄に感じている中、課題・宿題を自宅で続けていくモチベーションになると思います。
- 子供の実態によっては、ライブで授業する形態の方がいいのではと思う。(スライドまたはビデオをライブで見て各自学習など)担任、他の先生方も初めての試みで試行錯誤されていると思います。保護者としては全力でサポートしたいと思います。
- 国語に関しては、先生が正しい日本語で教科書を読んだ音声を準備して頂けると、文章での日本語を聞く機会になって良いと思います。
- オフィス等に学習支援のなさや3月の子供の成績表、テスト返却などをお願いしても何のフォローアップも無く、休校中、管理職が何の指示も出されないことに非常に失望しました。
☆ (感想)
- ビデオレターが大変良かったです。子供も担任の先生のお顔を拝見でき、さらにわかりやすいお話内容で、返事をしながら聞いていました。課題にもスムーズに取り組む事が出来た。是非続けてほしいです。毎週大変かと思いますが、このような学習支援に大変感謝致します。(幼)
- 今週の課題のプリントに、実際に絵と言葉を書いて例として先生自身の自己紹介として出してくださったのは大変分かりやすかった。(幼)
- 課題と丁寧な説明の書面をお送りいただき、ありがとうございました。問題なく受け取れましたし、保護者がすべきことの詳細なご説明にも感謝致します。(小)
- たくさんのEmailを拝見し、先生や事務局の方々が多く時間を割いて準備してくださったのがわかりました。感謝の気持ちでいっぱいです。(小)
- 宿題も含めて課題の内容は実際学校に通っている時よりかなり少ないですが、現状にとっても合っている内容と量だと思います。既に現地校の課題にかかりきりの毎日で、外出もままならず、お互い様々なストレスがあります。そういう状況で、負担のない・達成感が感じられる課題量だと感じました。足りないところは親が補ったりするなどで十分かと思えます。(小)
- 先生方の発信や取り組みを受けて、この期間で規制があるなか、先生方は子供たちや家庭に寄り添って一生懸命やってくれていると感じました。(小)
- 現地校の勉強が家庭での負担になっているので、今週の課題量は丁度良いと感じました。子供達も無理なく続けられますし、達成感も感じやすいと思いました。先生方が工夫して支援してくださっている事がとてもよく伝わる内容でした。有難うございます。(小)
- 我が家の子供には今回のような学習支援のやり方が合っているようです。宿題の量も丁度良く過度な負担が無いので、現地校の勉強との両立が出来ています。(小)
- ビデオや支援教材を作成下さった全ての先生方にお礼を申し上げたいと思います。この授業形式は親も横に座って一緒に取り組めるので、これはこれで良いと思いました。(中)
- 色々と規制がある中、また準備期間もあまり無かったのかと思われるが、より良い方法を考え、一方的にならないなどの工夫もあって良かった。生徒に寄り添って、一生懸命用意してくださったと先生方の熱意を感じた。(中)
- すべて自分の力で学習を進めていけるようにデザインされており、補足のPPT、動画等充実していると感じた。よく練られていると思う。(中)
- メール配信の不具合にも素早く対応していただき、ありがとうございました。(高)
- 個々の教科の支援内容については問題なかったものと思います。(高)
- ビデオや支援教材を作成下さった全ての先生方にお礼を申し上げたいと思います。(高)

寄せられたご意見・ご要望の中には、2回目以降に解消・改善されたものもございました。その後、すぐに対応できるものから、改善してまいりましたが、様々な事情でご要望にお応えできないものもあり、大変申し訳なく存じます。

全での学級でのオンライン授業・オンデマンド授業の実施、金曜の課題・宿題の配信、1週間の中で一人一人への宿題の添削やアドバイスとオンデマンド動画やスライドづくりの両方を行うことなどについては、現時点での対応はできませんが、見直しを図った事案については、お子様の負担を軽減するために、現地校の課題量とのバランスを考え、学習課題の量を調整したこと、課題の提出期限を統一したこと、などです。さらに、お声を受け、6月からは、以下の2点について実施いたします。

○オンライン授業は、中学3年数学・高等学部2年国語において実施してきましたが、中学1年国語・中学3年国語・高等学部3年国語においても、オンライン授業を行います。

○各学年・学級とも「朝の会」を、PTAの協力を得てオンラインで行います。

当初、5・6月の学習支援は、9月開校までの間、お子様の日本語で学ぶ機会を継続して提供するため、臨時的な取り組みという位置づけで開始しました。5月中5回の学習支援を終えた現在、教員は、平日の夜に宿題を確認したり、教材を準備したり、慣れないIT技術に対応したりと、通常の授業日のための教材準備に比して、何倍もの時間と労力を費やしています。加えて、学年・教科ごとの打ち合わせのための会議の時間も多く設定せざるを得ず、本業や家庭生活に支障を来すような状況も生じています。学習支援については、様々なご意見やご要望をいただいておりますが、教職員の置かれている状況も改めてご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

今後については、現時点で9月始業を予定していますが、州内・学区の現地校の開校状況によっては、9月以降も対面での授業が実施できず、遠隔での授業を行わなければならない事態や、時差登校や隔週での学部別登校などの変則的な様態での授業実施などの対応も想定されます。いずれにしましても、休校の長期化や断続的措置がとられ、対面での授業が行われない場合には、現行の学習支援の成果と課題を踏まえ、お子様の発達段階等を考慮して、さらに充実した取り組みを行いたいと考えております。

明るく元気な子どもたちの声が、校舎に戻ってくる日のために、私たち教職員も、子どもたちのために、可能な限りの教育内容を提供するよう準備してまいります。

ご家庭におかれましても、先行きの見えない状況に辛くご苦勞の多いことと拝察いたしますが、対面での授業の実施が叶う日に向けて、お子様の健康管理をお願いいたします。